

Going a Traveling

新年を迎えまた新たな旅へ

大分県立美術館で開催したイベントをご紹介します

身体ワークショップ
バンブー・ボディ

日常の中で意識することの少なくなった“身体と感覚”に向き合うワークショップの第二弾。コンテンポラリーダンスカンパニー86B210(鈴木富美恵・井口桂子)の2人を講師に迎え、じっくり自分の身体を感じるコースと、少しでも積極的に身体を使うコースを開催。当館の教育普及グループのバンブー・トイを身体と空間を結びつける素材として積極的に活用して、新たな視点を生み出しました。教育普及グループでは、このような身体と感覚を活性化させる美術体験ワークショップをこれからも開催します。



2/11
(木・祝)

“身体と感覚”に向き合う
ワークショップを開催



▲年末から年始にかけて、神輿の特別展示も行われました



▲当館スタッフも着物でお出迎え! photo by JaeHo Jung

1/1(金・祝)

1/3(日)

美術館で
ハッピーニューイヤー!

お正月特別企画

大分県立美術館は年中無休。年末年始も多くの皆さまにご来館いただきました。美術館にとっては、初めてのお正月。期間中は、「神々の黄昏」展を鑑賞すると駐車料金(大分県立美術館、iichiko総合文化センター)が3時間無料になるほか、着物姿で来館すれば、同展を同伴者の方1名とともに無料で鑑賞できる特典をご用意しました。また、1/2(土)には、先着100名の方に記念品が進呈されるなど様々な企画でお迎えました。

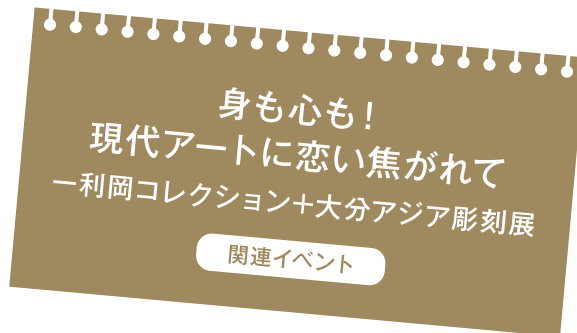
トークイベント
大分が誇る若手彫刻家
森 貴也を斬る VS. 新見

第11回大分アジア彫刻展で大賞を受賞した《境界》が本展に展示されている、別府市在住の彫刻家・森 貴也さんと当館館長の対談が開催されました。各地の展覧会に招かれる中で、多くの方と関わり合いながら制作をすることも多いという森さん。作品の写真や制作工程の映像を交え、創作活動に臨む自身の想いなどを紹介しました。彫刻家としての原点や制作過程の裏側も垣間見られる、興味深いイベントとなりました。



2/28
(日)

瑞々しい感性と発想力
若手クリエイターに対面!



トークイベント
大分が誇るコレクター
二宮 健を斬る VS. 新見

大分市在住のコレクター二宮 健さんと当館館長の対談が開催されました。少年時代から美術品に興味を持ち、蒐集をはじめたという二宮さん。大分の美術を中心にしたコレクションは、現在1,200点を超え、集めた作品を多くの方々に見てもらうため、公的な施設への寄託、寄贈等も積極的に行っています。今回、二宮さんには美術品蒐集にまつわる様々な裏話を交えながら、自身のコレクションの歩みとそれをきちんとした形で後世に残したいという将来の夢を大いに語ってもらいました。



3/13
(日)

少年時代からの審美眼に
大分の未来をみる

2/14
(日)

「ふわふわっ」な
天使の羽がいつぱい



アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ!
エンジェル・パタパタ

いつもは2階アトリエで、展覧会を見た後、手を動かして美術館の思い出がより深くなるように実施している、どなたでもワークショップ。今回は「身も心も! 現代アートに恋い焦がれて」展を見た後の来館者を対象に、3階展示室B出口付近で行われました。まずは一緒に展覧会の作品を見て楽しみ、その後、天使の羽をモチーフに、切り紙を行い、プレス機を使ってのエンボス加工を体験。フワとした羽がたくさんできあがりました。

